

〔三級自動車ジーゼル・エンジン〕

奥付：第八版から第九版で変更した箇所（平成 28 年 4 月）

頁	箇所	内容							
9	下から 9 行目 (傍線部分を削除し、 網掛け部分のように 変更)	バルブ及びカムシャフトをシリンダ・ヘッドに設けたものであり、カムシャフトの数は <b>1</b> 本のもので、							
30	下から 13 行目 (網掛け部分を追加)	排気通路やバルブ・シート・ <b>リング</b> 周辺のカーボンの付着状態を点検し、～							
	下から 12 行目 (網掛け部分を追加)	去する場合は、バルブ・シート・ <b>リング</b> を傷付けないようにする。～							
112	上から 18 行目 (傍線部分を削除し、 網掛け部分のように 変更)	JIS 規格(JIS D 5301 始動用鉛蓄 <b>電池</b> )による形式の表示法で、～							
	図 II-5	記号「B」の記載内容を変更  (変更後) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td rowspan="2">B</td> <td>127×203</td> <td>B17, B19</td> </tr> <tr> <td>129×203</td> <td>B20, B24</td> </tr> </table> (変更前) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>B</td> <td>129×203</td> <td>B17, B19, B20, B24</td> </tr> </table>	B	127×203	B17, B19	129×203	B20, B24	B	129×203
B	127×203	B17, B19							
	129×203	B20, B24							
B	129×203	B17, B19, B20, B24							
114	下から 10 行目 (傍線部分を削除し、 網掛け部分のように 変更)	<del>(5) 4)</del> <b>ブースタ・ケーブルの取扱い</b>							
131	下から 3 行目 (網掛け部分を追加及 び傍線部分を削除し、 網掛け部分のように 変更)	の矢印方向に <b>のみ電</b> 流が <b>流れない</b> ことが分かる。～							

〔三級自動車ジーゼル・エンジン〕

奥付：第七版から第八版で変更した箇所（平成 27 年 4 月）

頁	箇所	内容
27	上から 11 行目 (網掛け部分を追加)	高温・高圧にさらされ、後述するバルブ・シート・リングとの衝撃
	図 2-42	<p>図中の名称を変更及び追加 (変更後) (変更前)</p> <p>図 2-42 バルブ・シート・リング (左) / 図 2-42 バルブ・シート (右)</p>
	下から 2 行目 (傍線部分を削除し、網掛け部分のように変更)	フェースが密着する部分をバルブ・シート当たり面と呼び、燃焼室
28	上から 1 行目 (網掛け部分を追加)	なお、バルブ・シート・リングとバルブ・フェースの当た
43	上から 7~15 行目 (傍線部分を削除し、網掛け部分のように変更及び追加)	<p>バルブ・シート・リングは、バルブ・シートフェースとの当たり面に、傷、へこみなどがあるかどうかを点検する。また、図 2-84 のようにバルブ・シートとバルブ・フェースの当たり幅及び当たり位置が適切であることを確認し、不具合があるものは、バルブ・シート・リングを研磨又は交換する。</p> <p>バルブ・シート・リングの沈みは、バルブ・シート・リングの研磨に伴い増加するので、ノギスなどで測定し、規定値を超えているものは交換する。</p> <p>バルブ、あるいは、バルブ・シート・リングを交換したときは、バルブ・シート・グラインダでバルブ・シート・リングを仕上げ、図 2-85 のような方法で、バルブ・シートとバルブ・フェースとの当たり面にコンパウンドを付け、すり合わせを行った後、バルブ・シート・リングに光明丹を塗り、バルブをバルブ・シート・リングに軽く打ち当て、当たり幅が全周、かつ、バルブ・フェースの中心にあることを確認する。</p>
	図 2-85	図の名称の『バルブ・シートとバルブ・フェースのすり合わせ』を『バルブ・シート・リングとバルブ・フェースのすり合わせ』に変更
143	上から 13 行目 (網掛け部分を追加)	が、SAE(Society of Automotive Engineers: 米国自動車技術者協 <small>ソサイエティ オブ オートモーティブ エンジニアーズ</small> )
146	下から 12 行目 (傍線部分を削除し、網掛け部分のように変更)	グリースは、鉱物油と金属石けん原料基油に増ちょう剤を混合して作ったもので、常温では半固体状であるが、潤滑部が作動
	下から 3 行目 (網掛け部分を追加)	高速回転に適した粘度の低い鉱物油を使用している。
155	上から 15 行目 (傍線部分を削除)	)調整電圧の点検は、オルタネータの指定された端子(一般に B 又は L 端子)とアース間に電圧計を接

## 〔三級自動車ジーゼル・エンジン〕

奥付：第六版から第七版で変更した箇所（平成 26 年 4 月）

頁	箇所	内容
91	下から 4 行目 (傍線部分を削除し、 網掛け部分のように 変更)	吐出量制御式のサプライ・ポンプは、図 -2 のように燃料フューエル・タンクから燃料を 吸い上げるフィード・ポン
93	図 -5	図中の『燃料タンクへ』を『フューエル・タンクへ』に変更
94	図 -6-(2)	図中の『燃料タンクへ』を『フューエル・タンクへ』に変更
137	図 -4-(1)	図の名称の『過流室式』を『過流室式』に変更
139	下から 8~7 行目 (傍線部分を削除)	図 -10 のようにターミナルと保護金属管又はプラグ・ハウジング間の抵抗を測定し、規 定値にあれば正
142	上から 2 行目 (傍線部分を削除し、 網掛け部分のように 変更)	ジーゼル・エンジンの燃料装置は、非常に精密に作られているため、使用燃料及び燃料フュ ーエル・タンク内などには、
151	下から 4~2 行目 (傍線部分を削除)	うにサーキット・テストで、各グロー・プラグのターミナルと保護金属管又はプラグ・ハウ ジング間の抵抗を測定し、この値が 0 に近ければ短絡、